



ファームウェア プロファイル

この章は、次の内容で構成されています。

- [ファームウェア管理メニュー](#) (1 ページ)
- [ホストイメージマッピング](#) (8 ページ)
- [SD カードからのファームウェア アップグレード](#) (20 ページ)

ファームウェア管理メニュー

ファームウェア イメージは、ローカル サーバまたはネットワーク サーバからアップロードできます。プロファイル名は、ローカルおよびネットワークの両方のイメージプロファイルの間で一貫している必要があります。

Cisco は、すべての Cisco IMC Supervisor コンポーネントをアップグレードするためのファームウェアのアップデートをまとめて提供します。ファームウェアのアップデートは、cisco.com からダウンロードできます。サーバが Cisco IMC Supervisor で管理されていない場合はアップグレードできません。E シリーズファームウェア イメージをダウンロードするには、cisco.com アカウントへの契約アクセスの関連付けを行う必要があります。

ローカル サーバへのイメージの追加

ローカル マシンからファームウェア イメージを追加するには、次の手順を実行します。E シリーズ サーバでこのタスクを実行することはできません。E シリーズ サーバにファームウェア イメージを追加するには、[ローカル ファイル システムからのイメージのアップロード](#) (3 ページ) を参照してください。



(注) Cisco IMC Supervisor バージョン 2.2(0.3) 以降、イメージ - ローカル、または 3.0(3e) より古いバージョンの Cisco IMC ではイメージのアップロード) を使用してファームウェア アップグレードを実行するには、シェル メニューを使用して HTTP を有効にする必要があります。

手順

- ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ 2 [Images - Local] タブをクリックし、[+] をクリックしてイメージを追加します。
- ステップ 3 [Add Firmware Image - Local (ファームウェアイメージの追加 - ローカル)] 画面で次のフィールドに情報を入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルを記述する一意の名前を入力します。
[Platform] ドロップダウン リスト	ドロップダウンリストからプラットフォームを選択します。 少なくとも 1 つのサーバを管理するプラットフォームだけがここにリストされます。
[使用可能なイメージ (Available Image)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストから .iso イメージを選択します。
[Download Now] チェックボックス	プロファイルの追加後、ただちに .iso イメージをダウンロードするには、このチェックボックスをオンにします。そうでない場合は、[Download Image] をクリックして、後でイメージをダウンロードすることができます。
[Graceful Timeout (グレースフルタイムアウト)] チェックボックス	ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定するには、このチェックボックスをオンにします。 (注) グレースフルタイムアウトは、Cisco IMC 3.1(3a)以降が稼働しているシステムで設定できます。 タイムアウト期間を指定しない場合、システムは 120 秒後に強制的にシャットダウンされます。
[Timeout (in mins) (タイムアウト (分))] フィールド	ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定します。 指定できる値は 0 ~ 60 の範囲内の値です。
[Force Shutdown Server (サーバの強制シャットダウン)] チェックボックス	[(Graceful Timeout (in mins) (グレースフルタイムアウト (分))] フィールドに指定した時間内にホストシステムがシャットダウンしなかった場合に、ホストシステムを強制的にシャットダウンするには、このチェックボックスをオンにします。 このオプションは、デフォルトで有効です。

フィールド	説明
[Allow Downloads for Images having Software Advisory (ソフトウェアアドバイザリを含むイメージのダウンロードを許可します)] チェックボックス	ソフトウェアアドバイザリが関連付けられているイメージをダウンロードするには、このチェックボックスをオンにします。
ライセンス契約に同意する	ライセンス契約書に同意するには、このチェックボックスをオンにします。[Terms and Conditions] リンクをクリックすると、エンドユーザ ライセンス契約書を確認できます。 (注) ライセンス契約書に合意しない場合、イメージを後でダウンロードする予定であっても、ファームウェア プロファイルを作成することはできません。

ステップ 4 [送信 (Submit)] をクリックします。

- (注)
- プロファイル設定の詳細を表示し、ファームウェア イメージの詳細を変更し、イメージ プロファイルを削除できます。同時に複数のプロファイルを選択して削除することもできます。
 - Cisco IMC Supervisor アプライアンスが、これらのイメージにリモートでマッピングできる必要があります。
 - [Images-Local] ウィンドウからイメージを選択し、cisco.com からイメージをダウンロードできます。イメージのダウンロードが必要になるファームウェア プロファイルの場合は、[Download Image] オプションを使用してダウンロードプロセスを延期し、後で開始することができます。また、[Delete Image] オプションを使用して、cisco.com からダウンロードしたイメージを削除することもできます。

ローカル ファイル システムからのイメージのアップロード

ローカル ファイル システムから Cisco IMC Supervisor システムへ ISO イメージをアップロードするには、この手順に従います。



- (注) Cisco IMC Supervisor バージョン 2.2(0.3) 以降、イメージ (ローカル イメージ、または 3.0(3e) より古いバージョンの Cisco IMC ではイメージのアップロード) を使用してファームウェア アップグレードを実行するには、シェルメニューを使用して HTTP を有効にする必要があります。

手順

- ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ 2 [Upload (アップロード)] を選択してイメージを追加します。
- ステップ 3 [Upload Firmware Image - Local (ファームウェアイメージのアップロード - ローカル)] 画面で次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルを記述する一意の名前を入力します。
[Platform] ドロップダウン リスト	C シリーズまたは E シリーズ プラットフォームを選択します。
[File] フィールド	ファイルを選択してこのフィールドにドロップするか、[Select a File (ファイルを選択)] をクリックしてローカル ファイル システムにアップロードします。
[Graceful Timeout (グレースフル タイムアウト)] チェックボックス	<p>ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定するには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) グレースフルタイムアウトは、Cisco IMC 3.1(3a)以降が稼働しているシステムで設定できます。</p> <p>タイムアウト期間を指定しない場合、システムは 120 秒後に強制的にシャットダウンされます。</p>
[Timeout (in mins) (タイムアウト (分))] フィールド	<p>ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定します。</p> <p>指定できる値は 0 ~ 60 の範囲内の値です。</p>
[Force Shutdown Server (サーバの強制シャットダウン)] チェックボックス	<p>[(Graceful Timeout (in mins) (グレースフル タイムアウト (分))] フィールドに指定した時間内にホストシステムがシャットダウンしなかった場合に、ホストシステムを強制的にシャットダウンするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このオプションは、デフォルトで有効です。</p>

- ステップ 4 [送信 (Submit)] をクリックします。

- (注)
- プロファイル設定の詳細を表示し、ファームウェアイメージの詳細を変更し、イメージプロファイルを削除できます。同時に複数のプロファイルを選択して削除することもできます。
 - [Delete Profile] オプションを使用すると、プロファイルに関連付けられたイメージを削除できます。誤ったイメージをアップロードしたり、ファイルがプロファイルに関連付けられていない場合は、定期的に（月に1回）実行されるシステム消去タスクによって、Cisco IMC Supervisorアプライアンスからファイルが削除されます。

ネットワーク サーバからのイメージの追加

プロファイル名、リモートIP、リモートファイル名などを提供することで、ネットワークサーバからファームウェアイメージを追加するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ 2** [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで [Images - Network (イメージ - ネットワーク)] を選択します。
- ステップ 3** [+] をクリックして、イメージを追加します。
- ステップ 4** [Add Firmware Image - Network (ファームウェアイメージの追加 - ネットワーク)] 画面で次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルを記述する一意の名前。プロファイル名は固有である必要があります。
[Platform] ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストからプラットフォームを選択します。少なくとも1つのサーバを管理するプラットフォームだけがここにリストされます。
[Mount Type] ドロップダウンリスト	[Network File System (NFS)]、[Common Internet File System (CIFS)]、[HTTP] のいずれかのサーバタイプを選択します。
[Remote IP] フィールド (NFS およびCIFSサーバタイプの場合のみ)	リモート IP アドレスを入力します。

フィールド	説明
[Remote Share] フィールド (NFS および CIFS サーバタイプの場合のみ)	リモート共有パスを入力します。
[Remote File Name] フィールド (NFS および CIFS サーバタイプの場合のみ)	リモート ファイル名を入力します。 (注) リモート ファイル名は Host Upgrade Utility ISO ファイルです。
[Location Link] フィールド (HTTP サーバタイプの場合のみ)	イメージの場所の有効な http または https URL リンクを入力します。
[User Name] フィールド	ネットワーク パスのユーザ名を入力します。
[Password] フィールド	ネットワーク パスのパスワードを入力します。
[Mount Options] ドロップダウンリスト (CIFS サーバタイプの場合のみ)	[Mount Options] ドロップダウンリストから、有効なマウントオプションを選択します。 (注) Cisco IMC バージョン 2.0(8) 以降を実行しているサーバ用にマウント オプションを選択できます。
[Graceful Timeout (グレースフルタイムアウト)] チェックボックス	ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定するには、このチェックボックスをオンにします。 (注) グレースフルタイムアウトは、Cisco IMC 3.1(3a) 以降が稼働しているシステムで設定できます。 タイムアウト期間を指定しない場合、システムは 120 秒後に強制的にシャットダウンされます。
[Timeout (in mins) (タイムアウト (分))] フィールド	ファームウェアアップグレードプロセスを開始するためにホストシステムがシャットダウンする必要がある期間を指定します。 指定できる値は 0 ~ 60 の範囲内の値です。
[Force Shutdown Server (サーバの強制シャットダウン)] チェックボックス	[(Graceful Timeout (in mins) (グレースフルタイムアウト (分))] フィールドに指定した時間内にホストシステムがシャットダウンしなかった場合に、ホストシステムを強制的にシャットダウンするには、このチェックボックスをオンにします。 このオプションは、デフォルトで有効です。

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

- (注)
- プロファイル設定の詳細を表示し、ファームウェアイメージの詳細を変更し、イメージプロファイルを削除できます。同時に複数のプロファイルを選択して削除することもできます。
 - Cisco IMC Supervisor アプライアンスが、これらのイメージにリモートでマッピングできる必要があります。

ファームウェアのアップグレード

始める前に

- Cisco IMC バージョン 2.0(x) にアップグレードする場合、デフォルトの Cisco IMC パスワードを変更する必要があります。
- 3.0(3e) より前のバージョンの Cisco IMC を実行しているサーバのローカルファームウェアイメージプロファイルを使用してファームウェアをアップグレードする場合は、Cisco IMC Supervisor で HTTP を有効にする必要があります。Cisco IMC Supervisor Shell Admin コンソールで HTTP を有効または無効にする方法については、『[Cisco IMC Supervisor Shell Guide, Release 2.2](#)』を参照してください。



- (注) 1つの Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバシャーシに設置されている両方のサーバを同時にアップグレードすることは推奨されません。

Cisco IMC Supervisor をアップグレードする前に、ファームウェア プロファイルがすでに設定されている場合は、CCO クレデンシャルとプロキシの詳細が設定されていることを確認してください。 [Cisco.com ユーザの設定](#) および [プロキシ設定](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ 2** [Firmware Management (ファームウェア管理)] 画面で [Firmware Upgrades (ファームウェアアップグレード)] をクリックします
- ステップ 3** [Run Upgrade] をクリックします。
警告メッセージが表示され、選択したサーバのアップグレードを実行すると、ホストがリブートしてファームウェアのアップデートツールが起動することが通知されます。ファームウェアのアップデートが完了すると、サーバがリブートして元のホスト OS が起動します。
- ステップ 4** [OK] をクリックして確定します。
- ステップ 5** [Upgrade Firmware] 画面で、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Profile] ドロップダウンリスト	ドロップダウン リストからプロファイルを選択します。
Platform	サーバプラットフォーム、ファームウェア イメージのバージョン、選択したファームウェアプロファイルのパスなどの詳細を表示できます。
[Image Version]	
[Image Path]	
[Server (サーバ)] ボタン	[Select] をクリックして、リストからサーバを選択します。選択したプロファイルで設定されているプラットフォームに一致するサーバだけがリストに表示されます。
[Schedule later] チェックボックス	このチェックボックスをオンにして、アップグレードを実行する既存のスケジュールを選択します。[+] アイコンをクリックして新しいスケジュールを作成することもできます。スケジュール作成の詳細については、 スケジュールの作成 を参照してください。[Policies] > [Manage Schedules] の順に移動してスケジュールを選択し、[View Scheduled Tasks] をクリックしてスケジュールされたタスクとその進行状況を確認できます。また、スケジュールされたタスクを選択し、[Remove Scheduled Tasks] をクリックして、関連付けられているスケジュール済みタスクを削除することもできます。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。

(注) ファームウェアアップグレードの詳細を表示したり、指定したアップグレード操作のステータス レコードを削除することもできます。

ホストイメージマッピング

ホストイメージマッピングは、E シリーズ サーバを対象としたよく利用される機能であり、Cisco IMC にファームウェア ファイルをダウンロードし、ファームウェアをアップグレードできます。次のいずれかをダウンロードおよびアップグレードするには、Cisco IMC Supervisor を使用してホストイメージマッピング プロファイルを作成できます。

- ISO ファームウェア イメージ
- CIMC イメージ
- BIOS イメージ

次のいずれかの方法でファームウェア イメージを Cisco IMC にダウンロードできます。

- ファームウェア ファイルを入手できるネットワーク上の場所 (FTP、FTPS、HTTP、または HTTPS サーバ) を入力します。

詳細については、[ネットワーク ホストイメージマッピング プロファイルの追加 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

- システム上の場所からファームウェア ファイルを選択します。

詳細については、[ホストイメージマッピングのアップロード プロファイルの作成 \(12 ページ\)](#) を参照してください。



重要

これらのタスクを実行するには、Cisco IMCバージョン3.2.4がEシリーズサーバにインストールされている必要があります。以前のバージョンのCisco IMCではこの機能は動作しません。

ファームウェアのアップグレードのためにプロファイルを作成する方法については、[ネットワーク ホストイメージマッピング プロファイルの追加 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

ネットワーク ホストイメージマッピング プロファイルの追加

始める前に

システムでUCS Eシリーズサーバのラック アカウントを作成している必要があります。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、[Host Image Mapping (ホストイメージマッピング)] クリックします。

ステップ 3 [Network Profile (ネットワーク プロファイル)] を選択します。

ネットワーク上の特定の場所からファームウェアイメージをダウンロードした場合は、このボタンをクリックします。

ステップ 4 [Create Host Image Mapping Profile - Network (ホストイメージマッピングのプロファイル - ネットワーク)] 画面で、次を含む必須フィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルの記述名。

[Platform] ドロップダウン リスト	<p>サーバ プラットフォームを選択します。</p> <p>このプロファイルを適用するときに、このドロップダウンリストから選択したプラットフォームに基づいて、使用可能なサーバのリストにエントリが取り込まれます。</p> <p>注目 このドロップダウンリストには、UCSE シリーズサーバに対して作成したラックアカウントが取り込まれます。</p>
[Download Image From] ドロップダウン リスト	<p>ファームウェア イメージが使用可能なサーバのタイプを選択します。次のいずれかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FTP サーバ • FTPS サーバ • HTTP サーバ • HTTPS サーバ (HTTPS Server)
[Server IP Address] フィールド	サーバの IP アドレス。
[File Path] フィールド	ファームウェア ファイルが使用可能な場所のパス。
[File Type (ファイル タイプ)] ドロップダウン リスト	<p>イメージのファイル タイプを選択します次のいずれかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO • CIMC • BIOS
[File Name] フィールド	ファイルの名前を入力します。
[User name] フィールド	<p>ユーザ名。</p> <p>(注) このフィールドは、[Download Image From (イメージのダウンロード元)] ドロップダウンリストで[FTP Server (FTP サーバ)] または[FTPS Server (FTPS サーバ)] を選択した場合のみ表示されます。</p>

<p>[Password] フィールド</p>	<p>ユーザのパスワード。</p> <p>(注) このフィールドは、[Download Image From (イメージのダウンロード元)] ドロップダウンリストで [FTP Server (FTP サーバ)] または [FTPS Server (FTPS サーバ)] を選択した場合にのみ表示されます。</p>
<p>[Map After Download (ダウンロード後のマッピング)] チェックボックス</p>	<p>ダウンロードしたイメージをマッピングします。</p> <p>重要 このチェックボックスは、[File Type (ファイルタイプ)] ドロップダウンリストで [ISO] を選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>プロファイルの作成時または作成後にイメージをマッピングできます。サーバでアップグレードを開始するためには、ISO イメージのマッピングが必須です。サーバでイメージをマッピングしていない場合にファームウェアをアップグレードしようとすると、イメージがマッピングされていないことを通知するエラーメッセージが表示されます。このシナリオでのイメージのマッピングについては、ホストイメージのマッピングおよびマップ解除 (18 ページ) を参照してください。</p>
<p>[Delete All Existing Images (既存のすべてのイメージを削除)] チェックボックス</p>	<p>ファームウェア アップグレード対象として選択されたサーバの Cisco IMC で使用可能なダウンロード済みイメージをすべて削除します。</p>

<p>[Run Upgrade After Download (ダウンロード後にアップグレードを実行)] チェックボックス</p>	<p>ファームウェアファイルのダウンロード後すぐにアップグレードプロセスを開始する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>アップグレードプロセスを後で手動で開始する場合は、このチェックボックスをオンにしないでください。後でこのプロセスを実行するには、ホストイメージアップグレードの手動での実行 (17 ページ) を参照してください。</p> <p>重要 [File Type (ファイルタイプ)] ドロップダウンリストで [ISO] を選択した場合、およびこのチェックボックスをオンにした場合、続行するには、[Map After Download (ダウンロード後のマッピング)] チェックボックスもオンにする必要があります。これら両方のチェックボックスをオンにすると、ファームウェアファイルがダウンロードされ、Cisco IMC にマッピングされます。</p>
--	---

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

プロファイルが作成されたら、このプロファイルを実行するサーバを選択する必要があります。詳細については、「[ホストイメージプロファイルの適用 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

プロファイルの作成後に実行できるその他の操作の一部を次に示します。

- プロファイルの編集または削除
- プロファイルのステータス情報の表示
- アップグレードプロセスの開始 (プロファイルの作成中に指定しなかった場合)

ホストイメージマッピングのアップロードプロファイルの作成

システムから Cisco IMC にファームウェアファイルをアップロードするには、次の手順を実行します。

始める前に

システムで UCS E シリーズ サーバのラック アカウントを作成している必要があります。

手順

- ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ 2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、[Host Image Mapping (ホストイメージ マッピング)] クリックします。
- ステップ 3 [Upload Profile (プロファイルのアップロード)] を選択します。
- ステップ 4 [Create Host Image Mapping Profile - Upload (ホストイメージ マッピングのプロファイル - アップロード)] 画面で、次を含む必須フィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルを記述する一意の名前。プロファイル名は固有である必要があります。
[Platform] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからプラットフォームを選択します。 このプロファイルを適用するときに、このドロップダウン リストから選択したプラットフォームに基づいて、使用可能なサーバのリストにエントリが取り込まれます。 注目 このドロップダウンリストには、UCSE シリーズサーバに対して作成したラックアカウントが取り込まれます。
[File Type (ファイル タイプ)] ドロップダウン リスト	イメージのファイル タイプを選択します 次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ISO • CIMC • BIOS
[File Name] フィールド	[Select a File (ファイルを選択)] をクリックして、システムからファイルを参照して選択します。

フィールド	説明
<p>[Map After Download (ダウンロード後のマッピング)] チェックボックス</p>	<p>ダウンロードしたイメージをマッピングします。</p> <p>重要 このチェックボックスは、[File Type (ファイルタイプ)]ドロップダウンリストで [ISO] を選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>プロファイルの作成時または作成後にイメージをマッピングできます。サーバでアップグレードを開始するためには、ISO イメージのマッピングが必須です。サーバでイメージをマッピングしていない場合にファームウェアをアップグレードしようとする、イメージがマッピングされていないことを通知するエラーメッセージが表示されます。このシナリオでのイメージのマッピングについては、ホストイメージのマッピングおよびマップ解除 (18 ページ) を参照してください。</p>
<p>[Delete All Existing Images (既存のすべてのイメージを削除)] チェックボックス</p>	<p>ファームウェアアップグレード対象として選択されたサーバの Cisco IMC で使用可能なダウンロード済みイメージをすべて削除します。</p>
<p>[Run Upgrade After Download (ダウンロード後にアップグレードを実行)] チェックボックス</p>	<p>ファームウェアファイルのダウンロード後すぐにアップグレードプロセスを開始する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>アップグレードプロセスを後で手動で開始する場合は、このチェックボックスをオンにしないでください。後でこのプロセスを実行するには、ホストイメージアップグレードの手動での実行 (17 ページ) を参照してください。</p> <p>重要 [File Type (ファイルタイプ)]ドロップダウンリストで [ISO] を選択した場合、およびこのチェックボックスをオンにした場合、続行するには、[Map After Download (ダウンロード後のマッピング)] チェックボックスもオンにする必要があります。これら両方のチェックボックスをオンにすると、ファームウェアファイルがダウンロードされ、Cisco IMC にマッピングされます。</p>

ステップ5 [送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

プロファイルが作成されたら、このプロファイルを実行するサーバを選択する必要があります。詳細については、「[ホストイメージプロファイルの適用 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

プロファイルの作成後に実行できるその他の操作の一部を次に示します。

- プロファイルの編集または削除
- プロファイルのステータス情報の表示
- アップグレードプロセスの開始 (プロファイルの作成中に指定しなかった場合)

ホストイメージ プロファイルの適用

ホストイメージマッピングプロファイルの作成後に、次の目的に使用するサーバを選択できます。

- Cisco IMC にイメージをダウンロードするためにプロファイルを実行できる。
- ファームウェアアップグレードを即時に開始する必要がある (プロファイルの作成時に **[Run Upgrade After Download (ダウンロード後にアップグレードを実行)]** チェックボックスをオンにしている場合)。



(注) ホストイメージプロファイルを適用していない場合は、**[View Status (ステータスの表示)]** オプションを選択すると空白のレポートが生成されます。また、プロファイルを適用していない場合や、ホストイメージプロファイルの適用アクションが進行中の場合には、ファームウェアアップグレードを開始できません。

始める前に

システムでホストイメージマッピングプロファイルを作成している必要があります。

手順

ステップ1 **[Systems] > [Firmware Management]** を選択します。

ステップ2 **[Firmware Management (ファームウェア管理)]** ページで、**[Host Image Mapping (ホストイメージマッピング)]** をクリックします。

ステップ3 テーブルからプロファイルを選択し、**[Apply (適用)]** をクリックします。

あるいは、プロファイルを選択して、**[More Actions (その他の操作)]** ドロップダウン リストから **[Apply (適用)]** を選択できます。

ステップ 4 [Apply Profile (プロファイルの適用)] 画面で **[Select (選択)]** をクリックし、ファームウェア イメージを適用する必要があるサーバを選択します。

複数のサーバを選択できます。サーバのリストには、プロファイルの作成時に選択したサーバプラットフォームに基づいてサーバが表示されます。

ステップ 5 [Select (選択)] をクリックし、**[Apply Profile (プロファイルの適用)]** 画面に戻ります。

ステップ 6 [Schedule Later (後でスケジュール)] チェックボックスをオンにして、このプロセスを完了する必要がある日付と時刻を選択します。

既存のスケジュールを選択するか、**[+]** をクリックして新しいスケジュールを作成できます。

新しいスケジュールの作成の詳細については、[スケジュールの作成](#)を参照してください。

ステップ 7 [送信 (Submit)] をクリックします。

ファームウェア イメージのダウンロード

サーバの Cisco IMC でファームウェア イメージをダウンロードするには、次の手順を実行します。

始める前に

ファームウェア イメージをダウンロードするための Cisco.com プロファイルを作成する必要があります。

- ファームウェア イメージをダウンロードするための Cisco.com プロファイルを作成しています。
- プロファイルの作成時に **[Download Now (今すぐダウンロード)]** チェックボックスをオフにしています。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、**[Host Image Mapping (ホストイメージ マッピング)]** をクリックします。

ステップ 3 プロファイルのリストから CCO プロファイルを選択します。

ステップ 4 [More Actions (その他の操作)] ドロップダウン リストから **[Download Image (イメージのダウンロード)]** を選択します。

ステップ 5 [Download Image (イメージのダウンロード)] 画面に表示される情報を確認し、**[Download (ダウンロード)]** をクリックします。

プロファイルに指定されているファームウェアイメージが、設定したクレデンシャルを使用して Cisco.com からダウンロードされます。

次のタスク

ダウンロードしたイメージは後で削除できます。詳細については、[ダウンロードイメージの削除 \(18 ページ\)](#) を参照してください。

ホスト イメージ アップグレードの手動での実行

ホスト イメージ マッピング プロファイルの作成時に **[Run Upgrade After Download (ダウンロード後にアップグレードを実行)]** チェックボックスをオンにしていない場合、次の手順に従ってアップグレードプロセスを手動で実行します。

始める前に

システムでホスト イメージ マッピング プロファイルを作成している必要があります。

手順

- ステップ 1 **[Systems] > [Firmware Management]** を選択します。
- ステップ 2 **[Firmware Management (ファームウェア管理)]** ページで、**[Host Image Mapping (ホスト イメージ マッピング)]** クリックします。
- ステップ 3 **[Run Upgrade (アップグレードの実行)]** を選択します。
- ステップ 4 **[Upgrade Host Image (ホスト イメージのアップグレード)]** 画面で、次を含む必須フィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Profile] ドロップダウン リスト	プロファイルを選択します。 プロファイルを選択したら、プロファイルの詳細が画面に表示されます。
[Servers] フィールド	[Select (選択)] をクリックし、アップグレードを実行する必要があるサーバを選択します。
[Schedule Later] チェックボックス	このチェックボックスをオンにして、後でサーバをアップグレードするための既存のスケジュールを選択するか、または [+] をクリックして新しいスケジュールを作成します。 新しいスケジュールの作成の詳細については、 スケジュールの作成 を参照してください。

ステップ5 [送信 (Submit)] をクリックします。

ダウンロードイメージの削除

Cisco.com プロファイルの作成時に、プロファイル作成後すぐにファームウェアイメージをダウンロードすることを選択するか、または後でダウンロードすることができます。ダウンロードしたイメージは、Cisco IMC Supervisor から削除できます。このオプションは、Cisco.com プロファイルを使用してダウンロードしたイメージでのみ使用可能です。

手順

- ステップ1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。
- ステップ2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、[Host Image Mapping (ホストイメージマッピング)] をクリックします。
- ステップ3 作成したプロファイルのリストから CCO プロファイルを選択します。
- ステップ4 [More Actions (その他の操作)] ドロップダウン リストから [Delete Image (イメージの削除)] を選択します。
- ステップ5 [Delete Image(s) (イメージの削除)] 画面で、[Delete (削除)] をクリックします。

ホストイメージのマッピングおよびマップ解除

特定の Cisco IMC サーバでホストイメージをマッピングまたはマップ解除するには、次の手順を実行します。ISO ホストイメージだけをマッピングおよびマップ解除できます。その他のホストイメージ (BIOS、CIMC など) は、この画面で削除のみ実行できます。

始める前に

システムでホストイメージマッピングプロファイルを作成している必要があります。

手順

- ステップ1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。
- ステップ2 [Rack Groups (ラックグループ)] を展開し、サーバが含まれているラックグループを選択します。
- ステップ3 選択したラックグループのページで、[Rack Servers] をクリックします。
- ステップ4 リストでサーバをダブルクリックしてその詳細を確認するか、リストでサーバを選択し、右端の下矢印をクリックして [View Details (詳細の表示)] を選択します。

(注) リストからサーバを選択するまでは、右端に下向き矢印は表示されません。

ステップ 5 **[Host Images (ホスト イメージ)]** タブを選択します。

Cisco IMC サーバで使用可能なすべてのイメージのリストが画面に表示されます。

ステップ 6 ISO ホスト イメージを選択し、**[Map Image (イメージのマッピング)]**、**[Unmap Image (イメージのマッピング解除)]**、**[Delete Image (イメージの削除)]** のいずれかを選択します。

BIOS イメージと CIMC イメージの場合、この画面では **[Delete Image (イメージの削除)]** だけを選択できます。

ホスト プロファイル イメージのステータス詳細の表示

始める前に

システムでホスト イメージ マッピング プロファイルを作成している必要があります。

手順

ステップ 1 **[Systems] > [Firmware Management]** を選択します。

ステップ 2 **[Firmware Management (ファームウェア管理)]** ページで、**[Host Image Mapping (ホスト イメージ マッピング)]** クリックします。

ステップ 3 テーブルからプロファイルを選択し、**[More Actions (その他の操作)]** ドロップダウン リストから **[View Status Details (ステータス詳細の表示)]** を選択します。

テーブルからプロファイルを選択し、右クリックして **[View Status Details (ステータス詳細の表示)]** を選択することもできます。

[View Host Image Mapping Profile Status (ホスト イメージ マッピング プロファイルのステータスを表示します)] 画面に次の情報が表示されます。

- プロファイル名
- サーバの IP アドレス
- ダウンロード ステータス
- アップグレード ステータス

アップロードプロファイルおよび Cisco.com プロファイルのステータス情報が表示されません。

(注) ファームウェアをアップグレードするために BIOS ファイルを選択している場合は、そのサーバの Cisco IMC に変更が反映されるまで 3 ~ 4 分待つ必要があります。

ホストイメージマッピング プロファイルの削除

手順

-
- ステップ 1 **[Systems] > [Firmware Management]** を選択します。
 - ステップ 2 **[Firmware Management (ファームウェア管理)]** ページで、**[Host Image Mapping (ホストイメージマッピング)]** クリックします。
 - ステップ 3 テーブルからプロファイルを選択し、**[Delete Profile (プロファイルの削除)]** をクリックします。
 - ステップ 4 **[Delete Profile (プロファイルの削除)]** 画面で、**[Delete (削除)]** をクリックします。
プロファイルがシステムから削除されます。
-

SD カードからのファームウェア アップグレード

管理者は、Micro SD カードまたは FlexFlash カードに ISO イメージをダウンロードすることにより、ラックサーバにファームウェアのアップグレードを実行できるようになりました。ユーザーインターフェイスには次のオプションが用意されており、これらのファームウェアアップグレードを実行できます。

- **[Download Image (イメージのダウンロード)]**: 特定のサーバのファームウェア イメージをダウンロードするには、このオプションを使用します。イメージのダウンロード後すぐにファームウェア アップグレードを開始するように選択することもできます。「[SD カードへのファームウェア イメージのダウンロード \(21 ページ\)](#)」を参照してください。
- **[Run Upgrade (アップグレードの実行)]**: イメージのダウンロード後、後の時点でファームウェア アップグレードを開始するには、このオプションを使用します。「[SD カードからファームウェア アップグレードの実行 \(22 ページ\)](#)」を参照してください。
- **[Delete Status Messages (ステータス メッセージの削除)]**: ユーザー インターフェイスからすべてのファームウェア アップグレード関連のステータス メッセージを削除するには、このオプションを使用します。「[イメージのダウンロードメッセージの削除 \(22 ページ\)](#)」を参照してください。

これらのオプションを使用するには、最初にシステムでラックアカウントを作成してから、システムでローカルイメージプロファイルまたはネットワーク イメージプロファイルのいずれかを作成する必要があります。これらのプロファイルの作成の詳細については、[ローカルサーバへのイメージの追加 \(1 ページ\)](#) および [ネットワークサーバからのイメージの追加 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

SD カードへのファームウェア イメージのダウンロード

始める前に

- ラック アカウントがシステムに追加されます。
- ローカルおよびネットワークのイメージ プロファイルがシステムに作成されます。
- Cisco UCS M4 サーバで、FlexFlash コントローラが、ミラー モードではなく Util モードで設定されていることを確認します。コントローラがミラーモードに設定されている場合、ISO ファイルを SD カードにダウンロードすることはできません。FlexFlash ポリシーを使用して、Util モードでコントローラを設定します。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Upgrades - SD (ファームウェア アップグレード - SD)] を選択します。

ステップ 3 [Download Image (イメージのダウンロード)] を選択します。

ステップ 4 [Upgrade Host Image (ホスト イメージのダウンロード)] 画面で、次を含む必須フィールドに入力します。

フィールド名	説明
[Download Image From] ドロップダウン リスト	イメージをダウンロードするためにローカル プロファイルを使用するか、ネットワーク プロファイルを使用するか選択します。
[Select Profile] ドロップダウン リスト	プロファイルをリストから選択します。このドロップダウン リストには、M4 および M5 サーバのみのプロファイルが表示されます。
[Run Upgrade After Download (ダウンロード後にアップグレードを実行)] チェックボックス	イメージがダウンロードされた後、ファームウェアアップグレードプロセスを開始する必要がある場合、このチェックボックスをオンにします。 デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
[Servers] フィールド	[Select (選択)] をクリックして、ファームウェアアップグレードプロセスをオンにするサーバのチェックボックスをオンにします。 [Select (選択)] をクリックして、[Download Image (イメージのダウンロード)] 画面に戻ります。

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

選択したサーバにファームウェア イメージがダウンロードされます。

次のタスク

サーバでファームウェア アップグレードが開始されます。「[SD カードからファームウェア アップグレードの実行 \(22 ページ\)](#)」を参照してください。

SD カードからファームウェア アップグレードの実行

始める前に

[Download Image (イメージのダウンロード)] オプションを使用してこのファームウェア イメージをダウンロードしました。「[SD カードへのファームウェア イメージのダウンロード \(21 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Upgrades - SD (ファームウェア アップグレード - SD)] を選択します。

ステップ 3 [Run Upgrade] をクリックします。

ステップ 4 [Select (選択)] をクリックして、ファームウェア アップグレード プロセスをオンにするサーバのチェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [選択 (Select)] をクリックします。

ステップ 6 [提出 (Submit)] をクリックします。

ファームウェアのアップグレード プロセスは、選択したサーバで開始されます。[Images -SD (イメージ-SD)] 画面からアップグレードの進行状況を確認できます。ステータスが [Upgrade status (アップグレード ステータス)] 列に表示されます。

イメージのダウンロード メッセージの削除

手順

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Upgrades - SD (ファームウェア アップグレード - SD)] を選択します。

ステップ 3 リストからプロファイルを選択し、[Delete Status (ステータスの削除)] をクリックします。

ステップ 4 **[Delete Image Download Messages (イメージダウンロードメッセージの削除)]** 画面で、**[Delete (削除)]** をクリックします。
